

オハイオ州立大学

交換留学報告書

静岡県立大学 国際関係学部

国際関係学科 3年 政治経済コース



オハイオ州立大学に到着したとき、とてもキャンパスが広大で、キャンパス内を巡回するバス、数十棟ある大学寮、大学が所有するスタジアム、ジム、飛行場など日本の大学との違いを目の当たりにし、見るものすべてに驚き、とてもわくわくしたと同時に、外国で一人で生活できるか不安になったことを鮮明に覚えている。そこで過ごした約9カ月間が私にとってどのようなものだったのかを報告させていただきたい。

まず、ALP (American Language Program) というプログラムで授業を履修していた。このプログラムはスピーキング、リスニング、ライティング、リーディング、ヴォキャブラリーなどを2コマの授業に分けて学ぶというものだった。特に、スピーキングの授業は、あるテーマについてディベートしたり、興味のあるテーマでパワポを使って自分が授業を教える側になってみたり、自分で一から動画作りをした。中でもこのスピーキングの授業が一番苦勞したことからとても印象に残っている。リーディングの授業では、自分たちで意見を出し合い、どの本を読むかを決め、そしてその本の理解を深めるためのディスカッションをした。ALPは自分たちでテーマや題材を決め、授業をすることが多かったので、それが自分の語学力の成長につながったと感じている。寮に住んでいた私は、ネイティブのルームメイトにテスト前や課題の分からないところを聞いたり、プレゼン前には原稿を添削してもらったりなど、いろんな面で助けてもらった。教室での授業以外にも、オハイオの歴史博物館にいたり、映画を観に行ったりして見て触って感じる授業があるのも面白かった。

クラスには様々な国から来ている留学生がいた。外国に文化を知ることとはとても楽しく、休み時間にお互いの国のお菓子などを持ち寄ったりして交流を深めることができた。しかし、生まれ育った環境もバックグラウンドも全く違うので、彼らの文化や考え方の違いをどのように理解するか、または、どのようにお互い理解し合うかが、私にとって一番大変だったと同時に、そのような経験を通して学ぶこともたくさんあった。

アメリカの生活では、アメリカの文化に直接触れる機会がたくさんあった。まず、オハイオ州立大学では、「Buckeyes」というアメリカンフットボール部があり、フットボールシーズンになると学生含め地域の人々、皆が応援し、盛り上がるため、街がフットボール一色になる。大学のスタジアムで観る試合は圧巻で、アメリカのスポーツを生で観戦し、地元の人たちと一体になって応援できたことはかけがえのない思い出になった。アメリカには、11月の第4木曜にサンクスギビングデーという感謝祭があり、その日にはネイティブの友達の家を招待してもらい、友達のお母さんが作ったたくさんの手料理を振る舞っていただいた。食事の前には皆が手をつないで感謝の祈りをし始めたときは、とても戸惑ったが、アメリカ生活において大変貴重な経験となった。冬・春休みには、ニューヨークやロサンゼルスなど大都市を中心に7つの州を旅行した。特に印象深いのは、フロリダ州のマイアミとキーウェストを友達と旅行したことである。アメリカは州によってそれぞれ街や人の雰囲気が違い、到着した瞬間からそれを感じることができ、それも旅に楽しさであった。マイアミはキュー

バヤハバナの影響を受けており、人もとても明るく、気さくな感じで、時間の流れがゆったりとしているように感じ、オハイオとはまた違ったアメリカの文化を楽しむことができた。

また、留学生が多い学校だったため留学生が参加しやすいイベントがたくさん行われており、ネイティブの学生、留学生とも交流ができる機会が頻繁にあったのがとても良かった。私にはカンパセーションパートナーがいたので、そのパートナーがアメリカや学校のことについて教えてくれた。時には、一緒にキャンパス内で行われていたハロウィンのイベントに参加し、パートナーからハロウィンの歴史について学んだり、ジャックオーランタンを作ったりもした。週末には隣の州に遊びに行っておもしろい日々を過ごした。

治安については、キャンパスの周辺は治安が良かった。絶対とは言えないが、夜遅くに一人で出歩かない限り、危ない目に合うことはないと思う。私自身、市バスに乗って一人で出かけたことも何度もあるが、怖い経験をする事はなかった。盗難や事件などキャンパス内、またはキャンパス周辺で何かあった場合は、大学の方からメールで連絡が入るので、それは注意して確認していた。

この留学は、内気な性格の私にとって挑戦であり、留学前は不安でいっぱいだった。留学中も言いたいことが言えなかったり、行動に移せなかったり、友達とちゃんと意思疎通が取れなかったりなど、言葉や文化、考え方の違いなどで悩むことが多かった。しかし、それでも帰国して、自分の成長を感じられたときは、自分の人生にとって意味のある留学をすることができて本当によかった

と思う。そう思えることができるのも、とても恵まれた環境で生活、勉強できていたからだ実感する。この留学で経験したこと、学んだことを今後の生活に活かし、成長し続けたい。